



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)3月5日号 No.1720

目次

■ 2016年のロシア石油産業の生産データ	1
■ 統計速報	6
2017年1月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2017年1月の日ロ貿易／7	
■ キーパーソン	8
トルクメニスタンで組閣／8	
■ モスクワほっとニュース	10
写真展「Best of Russia'16」／10	
■ エトセトラ	11
「ロシアビジネスセミナーin旭川—医療分野を中心に—」／11	
■ トピックス	11
日本海洋掘削がサハリン3鉱区で受注／11	
ロシア極東ビザ取得手続き簡素化へ／11	
ロシア・オクサイアル社が日本市場開拓強化／11	
NEC、ロシア国立図書館とシステム開発協業／12	
アスタナ国際博覧会、日本館の見どころを発表／12	

2016年のロシア石油産業の生産データ

はじめに

本速報では、ロシアの『石油ガス垂直統合』誌より、2016年のロシア石油企業の原油生産量、精製量に関するデータを抜粋し、ご紹介する。

近年のロシアの原油生産量は、2008年に一時的に減少したものの、現在までのところ、増加傾向が続いている。2016年の原油生産量は約5億4,750万tに達し、前年比で2.5%増加した。

2016年の各社の原油生産動向をみると、ロスネフチの原油生産量は前年比0.5%増加し、1億8,972万tとなった。その他の動向を見ると、ルクオイル:8,300万t(3.1%減)、スルグトネフチェガス:6,185万t(0.4%増)、ガспロムネフチ:3,776万t(10.0%増)となった。原油生産全体に占める各社のシェアは、ロスネフチの34.7%を筆頭に、ルクオイル:15.2%、スルグトネフチェガス:11.3%、ガспロムネフチ:6.9%、外ネフチ:5.2%、バシネフチ:3.9%などとなっている。

2016年の石油精製量をみると、ロシア全体の石油精製量は2億7,937万tで前年比1.1%減少となった。また、各社の精製量をみると、ロスネフチは7,315万tで前年比2.7%減少した。その他、ルクオイル:4,181万t(前年同)、ガспロムネフチ:3,119万t(2.3%減)、スルグトネフチェガス:1,853